明治廿九年六月十五日（陰暦五月五日）
怒濤天を捲ひく競来し其勢ひ

明治廿九年六月十五日（陰暦五月五日）怒濤天を捲ひく襲来し其勢ひ猛烈にして実に五千余の家屋海底に沈ミ三万余の死屍波間に漂ふる悲惨の境界に一生を全ふする者も家無く食なく家族なく財産なし負傷者ハ痛ミ飢ゑ健康者ハ饑に迫る其悽状実に酸鼻の至りなり爰に赤十字社の如きハ夙く災地へ医員を出張せしめ能く之を看護し四方の有志家ハ職を拋うつて能く之を救恤せらるゝも如何せん被害区域の広きゐめ未だ三分の潤沢も現ハれず同胞相憐の情ある人ハ一ト費を省略して罹災人民を救済せられんことを切に勧誘する所なり

北陸三縣大洪水ホーカイぶし

北陸の。大つなミ水害をうぎのみなさまへ
眼もあてられぬ憐れさよ　ホーカイ
怖ろしい　いきおひ激しい大つなみ
のがれるひまもない名宮　ホーカイ

無慘あれ。
三万余の
死傷しゆる
のこる妻子ハ

明治廿九年七月三十日印刷
仝年八月三日発行
画工印刷兼発行者
日本橋区新葭町二十二番地
楠山橘次郎